

学校保健法施行規則第25条

学校薬剤師の職務執行の準則は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 一 学校保健安全計画の立案に参加すること。
 - 二 第二十二条の二の環境衛生検査に従事すること。
 - 三 学校環境衛生検査の維持及び改善に関し、必要な指導と助言を行うこと。
 - 四 学校において使用する医薬品、毒物、劇物並びに保健管理に必要な用具及び材料の管理に関し必要な指導と助言を行い、及びこれらのものについて必要に応じ試験、検査又は鑑定を行うこと。
 - 五 前各項に掲げるもののほか、必要に応じ、学校における保健管理に関する専門的事項に関する技術及び指導に従事すること。
- 2 学校薬剤師は、前項の職務に従事したときは、その状況の概要を学校薬剤師執務記簿に記入して校長に提出するものとする。

☆「学校環境衛生の基準」15項目

定期環境衛生検査	日常点検
照度及び照明環境	明るさとその環境
騒音環境及び騒音レベル	騒音
教室等の空気	教室の空気
飲料水の管理	飲料水の管理
雨水等利用施設における水の管理	雨水等利用施設における水の管理
学校給食の食品衛生	学校給食の衛生管理
水泳プールの管理	水泳プールの管理
排水の管理	排水の管理
学校の清潔	学校の清潔
机、いすの整備	机、いすの整備
黒板の管理	黒板の管理
水飲み・洗口・手洗い場・足洗い場の管理	水飲み・洗口・手洗い場・足洗い場の管理
便所の管理	便所の管理
ごみの処理	ごみの処理
ネズミ、衛生害虫等	ネズミ、衛生害虫等の駆除

・臨時環境衛生検査

学校においては、次のような場合、必要があるときは、必要な検査項目を行う。

- (1) 伝染病又は食中毒のおそれがあり、また、発生したとき。
- (2) 風水害等により環境が不潔になり、又は汚染され、伝染病の発生のおそれがあるとき。

- (3) 机、いす、コンピュータ等新たな学校用備品の搬入等により、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の発生のおそれがあるとき。なお、新築・改築・改修等を行った際にはホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準値以下であることを確認させた上で引渡しを受けるものとする。

「食物アレルギーによるアナフィラキシー 学校対応マニュアル」

(日本小児アレルギー学会HP) <http://www.iscb.net/JSPACI/>

《させてみようQ&A》

- ① 「学校環境衛生の基準」は何項目からなっているか。

- ② その内5項目を列挙せよ。

地域保健【 P511 】

- ◎ 日用品に係る薬剤師の役割について説明できる。
- ◎ 日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる。

関連書籍

《指導のポイント》

- ① 特に毒性の強い日用品にはどのようなものがあるのか説明する。
- ② 使用法に特に注意が必要な日用品にはどのようなものがあるのか説明する。

《補足と解説》

家庭用品、文具、美術工芸用品、殺虫剤など、身の回りに存在する日用品に含まれる毒性について理解させる。

・(財) 日本中毒情報センター : <http://www.j-poison-ic.or.jp/>

《させてみようQ&A》

- ① 使用する危険性の高い日用品を列挙しなさい。
- ② 誤使用した際の対処方法を述べよ。

- ◎ 誤飲、誤食による中毒および食中毒に対して適切なアドバイスができる。(知識・技能)

関連書籍

《指導のポイント》

- ① 代表的な誤飲、誤食の例を説明し、対処法を説明する。
小児のタバコの誤食
- ② 代表的な誤飲、誤食の例を提示し、学生にインターネット等で対処方法を調べさせる。

《させてみようQ&A》

- ① 代表的な誤飲、誤食の対処方法を述べよ。

◎ 生活環境における消毒の概念について説明できる。

「消毒の知識」（日本薬剤師会作成）

《指導のポイント》

- ① 日常生活における消毒の必要性を説明する。
- ② 主な消毒についてその用途、使用方法等を説明する。
- ③ 一般市民に対する公衆衛生向上の観点から、消毒に関する啓発活動の必要性を説明する。
- ④ 学校薬剤師活動において消毒の知識が必要であることを説明する。

《補足と解説》

- ・手洗いの方法
- ・ノロウイルス感染予防
- ・インフルエンザ感染予防

《させてみようQ&A》

- ① 消毒の概念および必要性を述べよ。

- ② 主な消毒薬の用途、使用方法を述べよ。

- ③ 消毒薬を通し薬剤師の公衆衛生への関わりを説明せよ。

◎ 話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる。

「薬局・薬剤師のための健康日本 21 テキスト」（日薬HP）

健康日本 21 関連情報（日薬HP）

《指導のポイント》

- ① 被害が報告されている薬物および健康食品について具体例を挙げて説明せよ。
- ② 薬剤師会の行なっている「禁煙運動」について説明する。
- ③ 健康増進法（健康日本 21）に関する知識を確認する。
- ④ 健康日本 21 計画の 9 領域とその目標値を説明する。

《補足と解説》

こんにやくゼリー

「いわゆる健康食品」による健康被害事例（厚生労働省HP）

<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/diet/jirei/030530-1.html>

《させてみよう Q & A》

- ① 健康日本 21 の 9 領域を列挙せよ。

- ② メタボリックシンドロームを簡単に説明せよ。

編集あとがき

山形県薬剤師会実務実習受入委員会
櫻桃編集長 佐藤茂樹

平成17年に『櫻桃』は、山形版オリジナルの薬局実務実習テキストとして作られました。当初のコンセプトは、ひとり薬剤師の多い本県の現状や業務繁忙時等、指導への負担軽減を目的に、対学生用の自習可能なテキストとしました。「Q&A」を盛り込んだことは、その大きな特徴だと考えています。ただ、「～手引き－2005年度版～」と呼応する形をとった関係もあり、実習項目が旧4年制課程に準じたものになっていました。現状においては、6年制課程の標準カリキュラムとされる「実務実習モデル・コアカリキュラム」が一般的であり、受入に関連する多くは既にそれに準じた実習の項目立になっています。

そこで、『櫻桃』もそれに準じて再編集する必要があり、合わせてコンセプトの見直しも行った結果、対学生用だったものを対指導者用へと180度の方向転換を行う事としました。そうした事で新たに各項目に＜指導のポイント＞・＜補足と解説＞・＜させてみようQ&A＞をもうけ、その内容はできるだけ現場に即したものである事を基本としました。初版での最大の特徴であるQ&Aは、＜させてみようQ&A＞としてそのまま盛り込むようにしました。

現段階のテキストは、まだまだ未成熟なテキストであることは正直認めません。これを成熟させていくのは、皆様のお力添えがあって始めて成しえる事だと考えています。それぞれの受入環境を整える作業の中の一つとして『櫻桃』と一緒に現場に溶け込ませてもらい、フィードバックを頂きながら仕上げる事が出来れば幸いです。これからが肝心の作業になると思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

参考資料

2. 病院実習に関する資料

2-1. 病院実習スケジュール例

①実務実習指導システム作り委員会作成 (2008年12月版)

②東海北陸国立病院薬剤師会作成 (2010年3月版)

2-1. 病院実習スケジュール例

①実務実習指導システム作り委員会作成

スケジュール

(2008年12月版)

—第九回アドバンスワークショップにおいて提示—

病院実習スケジュール例

延べ日数	週	日	午前		午後			
			1コマ90分	1コマ90分	1コマ90分	1コマ90分		
1	1	1	月	ガイダンス H101-1	ガイダンス H101-2	ガイダンス H102-1	ガイダンス H102-2	なし
2		2	火	調剤 H103-1	調剤 H104-1	調剤 H104-2	調剤 H104-3	調剤 H105-1
3		3	水	調剤 H106-1	調剤 H106-2	調剤 H107-1	調剤 H107-2	調剤 H105-2
4		4	木	調剤 H107-3	調剤 H107-4	調剤 H107-5	調剤 H107-6	調剤 H107-7
5		5	金	調剤 H107-8	調剤 H107-9	調剤 H107-10	調剤 H107-11	調剤 H107-12
6	2	1	月	調剤 H108	調剤 H109	調剤 H110-1	調剤 H110-2	調剤 H110-3
7		2	火	調剤 H110-4	調剤 H110-5	調剤 H110-6	調剤 H110-7	調剤 H110-8
8		3	水	調剤 H110-9	調剤 H110-10	調剤 H110-11	調剤 H110-12	調剤 H111-1
9		4	木	調剤 H111-2	調剤 H112	調剤 H113-1	調剤 H113-2	注射 H118
10		5	金	注射 H119-1	注射 H119-2	注射 H119-3	注射 H121-1	注射 H121-2
11	3	1	月	注射 H120-1	注射 H120-2	注射 H121-3	注射 H121-4	注射 H121-5
12		2	火	注射 H121-6	注射 H122-1	注射 H122-2	注射 H122-3	注射 H122-4
13		3	水	注射 H122-5	購入管理 H201-1	購入管理 H201-2	購入管理 H202-1	購入管理 H202-2
14		4	木	購入管理 H203-1	購入管理 H203-2	購入管理 H203-3	購入管理 H204-1	購入管理 H204-2
15		5	金	購入管理 H204-3	購入管理 H205-1	購入管理 H205-2	購入管理 H205-3	購入管理 H206-1
16	4	1	月	DI H301-1	DI H302-1	DI H302-2	DI H302-3	DI H302-4
17		2	火	DI H302-5	DI H302-6	DI H302-7	DI H302-8	DI H302-9
18		3	水	DI H302-10	DI H303-1	DI H303-2	DI H303-3	DI H303-4
19		4	木	DI H303-5	DI H303-6	DI H304-1	DI H304-2	DI H304-3
20		5	金	製剤 H501&2-1	製剤 H501&2-2	製剤 H501&2-3	製剤 H501&2-4	製剤 H501&2-5
21	5	1	月	製剤 H501&2-5	製剤 H501&2-7	製剤 H501&2-8	製剤 H501&2-9	製剤 H501&2-10
22		2	火	製剤 H501&2-11	製剤 H501&2-12	製剤 H501&2-13	製剤 H501&2-14	製剤 H501&2-15
23		3	水	調剤 H107-13	外来服薬指導 H114-1	外来服薬指導 H114-2	病棟 H401-1	病棟 H401-2
24		4	木	調剤 H107-14	外来服薬指導 H114-3	外来服薬指導 H114-4	病棟	病棟
25		5	金	調剤 H107-15	外来服薬指導 H114-5	病棟	病棟	病棟
26	6	1	月	調剤 H107-16	外来服薬指導 H115-1	病棟	病棟	病棟
27		2	火	調剤 H107-17	外来服薬指導 H115-2	病棟	病棟	病棟
28		3	水	調剤 H107-18	外来服薬指導 H116-1	病棟	病棟	病棟
29		4	木	調剤 H107-19	外来服薬指導 H116-2	外来服薬指導 H117-1	病棟	病棟
30		5	金	調剤 H107-20	外来服薬指導 H117-2	外来服薬指導 H117-3	病棟	病棟
31	7	1	月	調剤 H110-13	外来服薬指導 H117-4	病棟	病棟	病棟
32		2	火	調剤 H110-14	外来服薬指導 H117-5	病棟	病棟	病棟
33		3	水	調剤 H110-15	外来服薬指導 H117-6	外来服薬指導 H117-7	病棟	病棟
34		4	木	外来服薬指導 H117-8	外来服薬指導 H117-9	外来服薬指導 H117-10	病棟	病棟
35		5	金	注射 H119-4	注射 H119-5	注射 H121-7	病棟	病棟
36	8	1	月	注射 H121-8	注射 H121-9	病棟	病棟	病棟
37		2	火	注射 H121-10	注射 H122-6	病棟	病棟	病棟
38		3	水	注射 H122-7	注射 H122-8	注射 H122-9	病棟	病棟
39		4	木	注射 H122-10	注射 H123-1	注射 H124-1	病棟	病棟
40		5	金	注射 H124-2	注射 H125-1	注射 H125-2	病棟	病棟
41	9	1	月	リスク H126-1	リスク H126-2	病棟	病棟	病棟
42		2	火	リスク H127-1	リスク H127-2	病棟	病棟	病棟
43		3	水	DI H303-7	DI H303-8	DI H303-9	病棟	病棟
44		4	木	DI H303-10	DI H305-1	DI H305-2	病棟	病棟
45		5	金	DI H305-3	DI H305-4	DI H305-5	病棟	病棟
46	10	1	月	DI H305-6	DI H305-7	病棟	病棟	病棟
47		2	火	DI H305-8	DI H305-9	病棟	病棟	病棟
48		3	水	DI H305-10	DI H306-1	DI H306-2	病棟	病棟
49		4	木	DI H306-3	DI H307-1	製剤 H501&2-16	病棟	病棟
50		5	金	DI H307-2	DI H307-3	製剤 H501&2-17	病棟	病棟
51	11	1	月	TDM H503-1	TDM H503-2	病棟	病棟	病棟
52		2	火	TDM H503-3	TDM H503-4	病棟	病棟	病棟
53		3	水	TDM H503-5	TDM H504-1	製剤 H501&2-18	病棟	病棟
54		4	木	TDM H504-2	製剤 H501&2-20	製剤 H501&2-19	病棟	病棟
55		5	金	反省・まとめ H601-1	反省・まとめ H601-2	反省・まとめ H601-3	病棟 H408-4	病棟 H408-4

前期
薬剤部内主体

中期
薬剤部十病棟

後期
病棟十薬剤部

午前は薬剤部内での実習を継続

午前は担当患者の薬剤部業務中心

全体	H101~102,H601(7コマ)	医薬品管理	H201~H206(14コマ)
調剤	H103~H113(50コマ)	DI	H301~H307(40コマ)
外来服薬指導	H114~H117(19コマ)	服薬指導	H401~H408(81コマ)
注射	H119~H125、(33コマ)	製剤	H501~H502(20コマ)
リスク	H126~H127(4コマ)	TDM	H503~H504(7コマ)

病棟コマ数: 33*2+14=80+0.3コマ数日
病棟については、LS番号は記入していない。

2－1．病院実習スケジュール例

②東海北陸国立病院薬剤師会作成

スケジュール

“実務実習指導・管理システム” (Fuji Zerox) 掲載

2010年3月版

第1週

第1週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
1日目 5月10日(月)	医療人としての薬剤師 	病院調剤業務の全体の流れ 	病院調剤業務の全体の流れ 	病院調剤業務の全体の流れ 	病院調剤業務の全体の流れ
2日目 5月11日(火)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	注射剤調剤 	注射剤調剤
3日目 5月12日(水)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	特別な配慮を要する医薬品 	特別な配慮を要する医薬品 	特別な配慮を要する医薬品
4日目 5月13日(木)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	医薬品の管理・供給・保存 	医薬品の管理・供給・保存
5日目 5月14日(金)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	注射剤調剤 	注射剤調剤

第2週

第2週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
8日目 5月17日(月)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	病院での医薬品情報 	病院での医薬品情報
9日目 5月18日(火)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	薬物モニタリング 	薬物モニタリング
10日目 5月19日(水)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	病棟業務の概説 	病棟業務の概説
11日目 5月20日(木)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	情報の入手・評価・加工 	情報の入手・評価・加工
12日目 5月21日(金)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	注射剤調剤 	注射剤調剤

第3週

第 3 週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
15日目 5月24日(月)	服薬指導 詳細	服薬指導 詳細	注射剤調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	注射剤調剤 詳細
16日目 5月25日(火)	服薬指導 詳細	服薬指導 詳細	注射剤調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	注射剤調剤 詳細
17日目 5月26日(水)	服薬指導 詳細	服薬指導 詳細	薬物モニタリング 詳細	薬物モニタリング 詳細	薬物モニタリング 詳細
18日目 5月27日(木)	服薬指導 詳細	服薬指導 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細
19日目 5月28日(金)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	服薬指導 詳細	服薬指導 詳細

第4週

第 4 週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
22日目 5月31日(月)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	院内で調製する製剤 詳細	院内で調製する製剤 詳細
23日目 6月1日(火)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	院内で調製する製剤 詳細	院内で調製する製剤 詳細
24日目 6月2日(水)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	服薬指導 詳細	病棟業務の概説 詳細
25日目 6月3日(木)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	服薬指導 詳細	病棟業務の概説 詳細
26日目 6月4日(金)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	服薬指導 詳細	病棟業務の概説 詳細

第5週

第5週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
29日目 6月7日(月)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	院内で調製する製剤 	院内で調製する製剤
30日目 6月8日(火)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	院内で調製する製剤 	院内で調製する製剤
31日目 6月9日(水)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務
32日目 6月10日(木)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	安全対策 	安全対策
33日目 6月11日(金)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務

第6週

第6週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
36日目 6月14日(月)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	医薬品の管理・供給・保存 	院内で調製する製剤 	院内で調製する製剤
37日目 6月15日(火)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	注射剤調剤 	院内で調製する製剤 	院内で調製する製剤
38日目 6月16日(水)	医薬品の管理・供給・保存 	医薬品の管理・供給・保存 	情報提供 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務
39日目 6月17日(木)	服薬指導 	服薬指導 	情報提供 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務
40日目 6月18日(金)	計数・計量調剤 	計数・計量調剤 	情報提供 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務

第7週

第7週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
43日目 6月21日(月)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	情報提供 詳細	院内で調製する製剤 詳細	院内で調製する製剤 詳細
44日目 6月22日(火)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	情報提供 詳細	院内で調製する製剤 詳細	院内で調製する製剤 詳細
45日目 6月23日(水)	医薬品の管理・供給・保存 詳細	医薬品の管理・供給・保存 詳細	処方支援への関与 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
46日目 6月24日(木)	医薬品の管理・供給・保存 詳細	医薬品の管理・供給・保存 詳細	処方支援への関与 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
47日目 6月25日(金)	中毒医療への貢献 詳細	中毒医療への貢献 詳細	処方支援への関与 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細

第8週

第8週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
50日目 6月28日(月)	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	情報提供 詳細	院内で調製する製剤 詳細	院内で調製する製剤 詳細
51日目 6月29日(火)	医薬品の採用・使用中 詳細	医薬品の管理・供給・保存 詳細	情報提供 詳細	院内で調製する製剤 詳細	院内で調製する製剤 詳細
52日目 6月30日(水)	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	処方支援への関与 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
53日目 7月1日(木)	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	処方支援への関与 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
54日目 7月2日(金)	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細

第 9 週

第 9 週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
57日目 7月5日(月)	注射剤調剤 詳細	注射剤調剤 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
58日目 7月6日(火)	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
59日目 7月7日(水)	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
60日目 7月8日(木)	情報提供 詳細	情報提供 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
61日目 7月9日(金)	情報提供 詳細	情報提供 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細

第 10 週

第 10 週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
64日目 7月12日(月)	情報提供 詳細	情報提供 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
65日目 7月13日(火)	服薬指導 詳細	服薬指導 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
66日目 7月14日(水)	服薬指導 詳細	服薬指導 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細
67日目 7月15日(木)	安全対策 詳細	安全対策 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細	情報の入手・評価・加工 詳細
68日目 7月16日(金)	計数・計量調剤 詳細	計数・計量調剤 詳細	医療チームへの参加 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細	薬剤管理者指導業務 詳細

第 1 1 週

第 11 週	AM1	AM2	PM1	PM2	PM3
71日目 7月19日(月)	情報提供 	情報提供 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務
72日目 7月20日(火)	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務
73日目 7月21日(水)	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務
74日目 7月22日(木)	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務
75日目 7月23日(金)	医療人としての薬剤師 	医療人としての薬剤師 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務 	薬剤管理者指導業務

参考資料

2. 病院実習に関する資料

2-2. 病院実習トライアル

<中国中央病院(平成19年7月) H118-H125>

実務実習コアカリキュラムに基づく実務実習トライアル報告書

～中国中央病院（2007） H118－H125～

トライアル概要

今年も、昨年同様4年生の4週間実習のうち、約2週間を使って「注射剤調剤」(H118～H125)のトライアルを実施した。

スケジュール表や手順書（具体的な方略）は昨年のもを手直しする程度で行い、時間配分は昨年のトライアルの結果をふまえて実施した。

今回新たに取り組んだのは、①学生評価の部分に重点をおく、②大学教員に積極的に実習に参加してもらおう、という2点である。評価に関しては、口頭・観察での確認だけでなく、SBOsごとに実習内容に準じたドリル（確認テスト）を作成し、学生同士で採点を行うことで、自己評価することを大筋とした。また、大学教員には患者役としてロールプレイに参加してもらったり、ドリルの作成に携わってもらったりすることで、共同で実習を行っている、という実感が得られた。

Key Words : 注射剤調剤、学生評価、ドリル、自己評価、大学教員の参加、ロールプレイ

(1) 実習施設の概要

施設名	病院（病床数） 薬局（平均処方せん受付枚数/日）	薬剤師人数
中国中央病院	276床	13名
病院薬剤部(科)、もしくは 薬局 代表者氏名	実習責任者氏名	薬剤師以外の職員 (助手や事務員)
薬剤部長 原 景子	原野/池田	1名

実習責任者連絡先	E-mail:harano-harumi@kouritu-cch.jp	電話：084-970-2121（代表）
----------	-------------------------------------	---------------------

(2) 学生および実習期間

大学名	学年	人数	期間
福山大学	4年生	2名	2007年 7月9日～8月3日 〔4週間〕

(3) トライアル対象コアカリキュラム方略

項目	LS 番号
(Ⅱ) 病院実習 《注射剤調剤》	H118 ～ H125

(4) 実習スケジュール

注) 必ず、スケジュール表を別に添付してください。問題点や工夫した点は、スケジュール解説として、まとめてください。この(4)の枠内の字数制限はありません。

スケジュール表 (資料 1)

スケジュール解説

- ① 昨年同様、4年生の通常の4週間実習のうち、約2週間を使って注射薬調剤(H118~125)のトライアルを行った。
- ② 勤務時間の都合上、午前2コマ、午後2コマの1日4コマとして実習を行うことも昨年と同様。
- ③ 昨年のトライアルの結果をふまえて、時間配分を下記のように変更して行った。

LS	コアカリ	→ 今回のトライアル
H118	90分×1	90分×1
H119	90分×5	90分×7
H120	90分×2	90分×1
H121	90分×10	90分×6
H122	90分×10	90分×8
H123	90分×1	
H124	90分×2	90分×8
H125	90分×2	90分×1
H 新規		90分×6
合計	90分×33	90分×38

(5) トライアルの経緯

トライアル実施に際しての、準備の経緯を記述。

この(5)の枠内の字数制限はありません。

2007年

4月26日【第1回大学との打ち合わせ】

出席者：大学教員2名、薬剤部スタッフ2名

内容：①4年生を対象とした注射薬調剤のトライアルを行う

②昨年不十分だった評価の部分に重点をおく

③スケジュール表や手順書は昨年のもを手直しする程度で行う

④大学教員に積極的に参加してもらうことを要望

5月24日【第2回大学との打ち合わせ】

出席者：大学教員1名、薬剤部スタッフ1名

内容：大学側から数種類の評価表(案)の提示

(試験を行うのであれば、問題作成や試験自体に教員が参加することも可能という説明を受けた)

6月初め 手順書の見直し、ワークシートの作成

6月下旬 【薬剤部内でミーティング】

内容：①評価はチェックリストを用いた学生の自己評価を大筋とし、指導者は自己評価を通じて目標の達成度を確認する。

チェックリストの作成は大学に依頼する。

②大学教員には、疑義照会の医師役と患者指導のロールプレイの患者役として参加を依頼する

スケジュール表の作成